

国際委員会アジア学術会議分科会（第22期・第14回）議事要旨

1. 日時：平成25年11月20日（水）9：00～10：40
2. 場所：日本学術会議 5-A（2）会議室（5階）
3. 出席者：白田委員長、生源寺副委員長、川本委員、黒田委員、野口委員、吉野委員、園田委員、土生委員（skype参加）（以上8名）

（事務局）飯島次長、坂本補佐ほか

4. 議事概要

- （1）アジア学術会議分科会（第12回）及び（第13回）議事概要案について特に意見なく認められた。

- （2）シンガポール、マレーシアへの白田アジア学術会議事務局長の海外出張の件

1月28日にシンガポールを訪れ、NRFとSNASに対しSCA加盟検討の要請を行うこと、同国で現在唯一のSCAメンバー機関であるA*STARを訪問し意見交換を行うこと、翌29日はマレーシアを訪れ第14回会合開催にかかわる事前打ち合わせのため、ASM訪問、JICAマレーシアオフィス及び会場ホテルを視察する予定。またMinistry訪問も調整中。

分科会として出張については承認された。

- （3）第14回SCA会合について

白田委員長より、マレーシア側でSub-Committeeが開かれ、調整を行っていること、従来行っているシンポジウムの査読等についてもマレーシア側で対応する予定であること、今回のシンポジウムでは300人ほどの参加者を見込んでいること、また、参加費300ドル（Delegatesも100ドル）を徴収する予定。Webサイトはシンポジウム向けに作成していたので、ただいま修正作業中であることが報告された。

また、今後、Sub-Committeeの資料が届いたら、各委員に配布することが承認された。

基調講演者として、ノーベル賞受賞者のアマルティア・セン氏、GDNのジャケ会長を日本側の経費で招聘したい旨説明があった。両者については、ただいま調整中であるが、GDNについては、年次総会と日程が重なっているため、別の人になる可能性もあるが同クラスの招聘としたいとの補足説明も委員長から行われ、分科会で承認された。

(4) ISSC 総会出席報告

10/9～12 までモントリオールで開催された ISSC 総会に白田事務局長らが出席し、SCA の紹介を行った旨報告があった。また、来年以降の会費については、ウェイバーを依頼しているところである。

(5) INSA、NASTEC の SCA 加盟について

インドの INSA については、加盟申請書類は入手している。

スリランカの NASTEC については、書類は当該組織で調整中である。